

令和4年度 東郷町立高嶺小学校 第1回学校運営協議会 議事録

1 開催日時

令和4年7月14日(木) 13時50分から

2 場所

東郷町立高嶺小学校 校長室

3 出席委員

谷直衛委員、山下健一委員、櫻谷有紀子委員、佐竹由三委員、伊藤悟克委員、杉尾沙矢佳委員、奥谷善一委員、津田ひとみ校長、上村直樹教頭

4 議事

(1) 会長の選出について

→委員の互選により、谷委員を会長に選出

(2) 副会長の選出

→谷会長の指名により、山下委員を副会長に選出

(3) 児童の活動について

(委員) 不登校、ヤングケアラーの数は把握していますか。

→(教頭)学校に全く来られない児童は6人。ヤングケアラーは、いません。

(委員) 昔の学校とは、雰囲気がいまいち違うなど感じる。

(委員) 外国人が増えているなど、環境が変わってきたなど思う。

(委員) 新型コロナの影響で、変わったことはありますか。

→(教頭)・大きな声であいさつをすることが無くなったような気がします。

・家にいることが、苦では無くなってきたように思われます。

・体力の低下が心配されます。

(委員) マスクを外さなくなってきたような気がする。

(4) 学校経営について

(校長) ・校訓については、入学式や始業式の式辞の中で児童に伝え、何か目標をもって過ごすように伝えています。知・徳・体のバランスの良い子を育てていきたいと思えます。

・重点努力目標について、あいさつを特に取り組んでいます。マスクをしているせいか、なかなか明るく元気のよい挨拶ができないことがあります。地域の方にも明るく元気のよい挨拶ができるよう、度々話をしています。また、前回お認めいただきましたように、新たに、「ICT教育の推進について」を加えました。1人1台のタブレット端末を、授業では積極的に活用しています。

・登下校のボランティアの方には毎日見守っていただき本当にありがとうございます。おかげ様で、登下校時の児童の事故はありません。

・現職教育について、昨年度に引き続き、「自分の考えをもち共に学びあう児童の育成」に取り組んでいます。ICT研修のほかにも、エピペン研修、個別対応研修、不審者対応研修ほか、いろいろな研修を行っています。

・その他、プールの老朽化に伴い、水泳の授業をスイミングスクールへの委託で実施しています。教員はプールサイドで、安全を見守ったり、成績をつけたりしています。

・学校行事は、コロナ禍ですが工夫して、できるだけ実施していきたいと思っています。昨年度、運動会は2学年ごと外に出て行いましたが、今年度は全員で行う予定です。コロナ感染症の拡大で、町の小中学校は2学期もご来賓をお迎えしないということになりました。9月に付知峡へ野外活動、10月に奈良・京都へ修学旅行を予定しています。ぜひスムーズに行けますようにと祈るばかりです。
高嶺マラソン大会を昨年度が学年ごとに行いましたが、今年度から大会としてではなく、期間を決めて運動場でマラソンをし、体力づくりを行うことにしました。

(5) 質疑応答

(委員) プール授業の委託は、なぜ始まったのですか。

→(事務局:学校教育課) プールの老朽化と、教員の働き方改革の一環です。

(6) その他

(委員) 使わないランドセルを学校に寄付している地域があるようですが、高嶺小学校では、必要としている人はいますか。

→(教頭) 把握はしていませんが、外国人の児童は、必要としているかもしれません。

→(委員) もし必要としている人がいれば、自治会内に情報提供するので、言ってください。

(教頭) 先日、愛知警察署の近くの池で、不審者が目撃されたとの情報があり、翌日には保護者の方と思われる人が複数人で見守り活動をしてきていました。この場を借りて感謝申し上げます。

(委員) 和合ヶ丘地区にスクールガードはいないのですか。

→(委員) スクールガードはいません。白鳥地区は、学校から老人クラブにお願いがあり立ち上げた。ただ、現在では平均年齢が80歳を超え、女性がいない。後継者を育てることが課題となっている。

→(委員) 和合ヶ丘地区内で、話し合ってみたいと思う。

→(委員) 長く続けるコツとして、義務感を持たず、参加できるときに参加するという気軽な気持ちが必要だと思います。